

VF53BS/VF63BS 簡易操作手順書

本紙は弊社可搬消防ポンプ「VF53BS/VF63BS」をお使いいただくための簡易的な操作手順書です。

本機に附属する取扱説明書を使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「使用上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

始動・運転手順		操作部位 番号
1	放水バルブハンドル、全てのドレンバルブを閉じる。	①・②
2	スロットルダイヤルを低圧の位置（始動）に合わせる。	③
3	メインスイッチを運転の位置にする。	④
4	メインスイッチを始動の位置にし、セルスタータを 작동させる。 （バッテリー低電圧時は、リコイルスタータにて始動する。）	④・⑤
5	エンジン始動後、スロットルダイヤルを吸水の位置まで上げ、吸水する。	③
6	真空ポンプが停止（圧力計の指針がプラス側に作動）してから、スロットルダイヤルを低圧の位置に戻す。	③・⑥
7	放水バルブハンドルをゆっくり全開にし、放水を開始する。	①
8	圧力計を見ながら、必要圧力までスロットルダイヤルを徐々に高圧側に回す。	③・⑥
9	スロットルダイヤルで吐出水量、水圧を調整する。	③

停止・終了手順		操作部位 番号
1	スロットルダイヤルを低圧の位置にする。	③
2	放水バルブハンドルを閉じる。	①
3	メインスイッチを停止の位置にし、エンジンを停止する。	④
4	放水バルブハンドルと全てのドレンバルブを開いて、完全に排水する。	①・②
5	排水完了後、吸水口キャップを取付ける。	⑧
6	エンジンを始動しスロットルダイヤルを吸水の位置にして、真空ポンプを約 10 秒間作動させる。	③
7	スロットルダイヤルを低圧の位置に戻しメインスイッチを停止の位置にし、エンジンを停止する。	③・④
8	放水バルブハンドルと全てのドレンバルブを閉じる。	①・②
9	再度、エンジンを始動してスロットルダイヤルを吸水の位置にし、エンジンが停止するまで運転する。この時、真空が形成されることを確認する。	③・④・⑦
10	エンジンが停止したらスロットルダイヤルを低圧の位置に戻し、エンジンの電源を OFF にする。 （エンジン停止後、真空漏れがないことを確認する。）	③・④
11	全てのドレンバルブを開き、ポンプ内に残った水を排水する。	②
12	連成計の指針が 0 位置となるのを確認後、全てのドレンバルブを閉じる。	②・⑦

